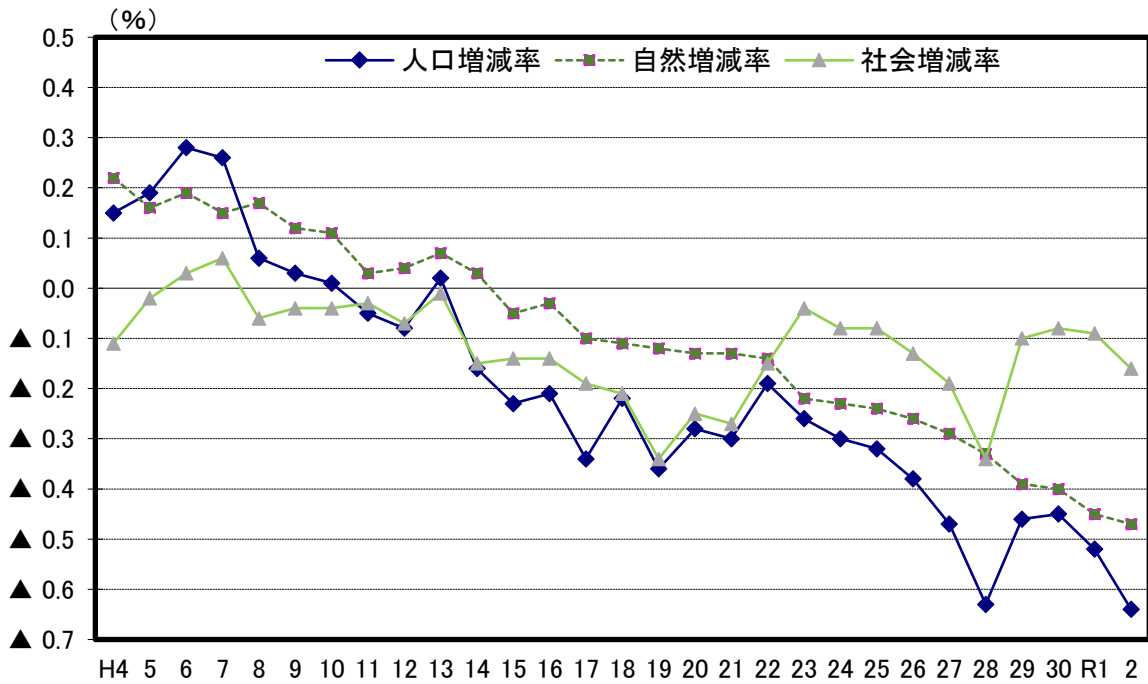


熊本県の人口増減率の推移



解 説

【概要】

毎年の人口推計年報で人口増減率の推移をみると、平成14年以降マイナスとなっており、自然増減率が平成15年以降マイナス、社会増減率は平成8年以降マイナスとなっている。

また、令和2年は人口増減率が▲0.64%、自然増減率が▲0.47%、社会増減率が▲0.16%となった。

県庁所在地である熊本市への人口集中度率は42.5%と、全国平均(26.8%)を大きく上回っている。

○人口増減率

$\text{人口増減率} = \frac{\text{人口増減数}}{\text{期首人口}} \times 1,000$

○千分率 (‰ : パーミル)

全体の合計を1,000とし、その1,000分の1を単位として表す比率。

○自然増減率

$\text{自然増減率} = \frac{\text{自然増減数}}{\text{期首人口}} \times 1,000$

○自然増減数

出生児数 - 死亡者数

○社会増減率

$\text{社会増減率} = \frac{\text{社会増減数}}{\text{期首人口}} \times 1,000$

○社会増減数

入国者数 - 出国者数 + 都道府県(市町村)間転入者数 - 都道府県(市町村)間転出者数

○期首人口

ここでは各年10月1日現在の人口を期首としている。

○都道府県庁所在地への人口集中度

$\text{都道府県庁所在地への人口集中度} = \frac{\text{都道府県庁所在市人口 (東京都では新宿区)}}{\text{都道府県人口}} \times 100$

資料出所	調査期日	調査周期
*1、*2、*3「人口推計年報」 総務省統計局	令和元年10月～令和2年9月	毎年
*4「令和2年国勢調査」「人口推計年報」総務省統計局	令和2年10月1日	毎年 (国勢調査5年)